シテ帶紅色ヲ呈ス。近ク其ノ一部ヲ東京科學博物館ニ送リ一般ノ閲覽ニ便セントス。

○はこねよし越後ニ産ス　(久内清孝)

はこねよし (*Phragmites Nakaiana* HONDA) ハ昭和4年ニ中井博士ガ、相州箱根山中ノ濕原ニ發見シテ、其檢討ヲ本田正次氏ニ委ネ、本田氏ハ精檢ノ結果上記ノ學名ヲ與ヘ、中井博士ノ見解ニ賛同シタルニ始マル。其特徴ハ、全株ニ現ルヽモ、其一ハ葉緣粗澁ナラザル點ニアリ。爾來他ニ產スルヲ耳ニセザリシ所、余ハ本年10月18日新潟縣中魚沼郡田澤村字倉下ニ之ヲ得タリ。此地ハ上越線石打驛ニ下車、西ニ上野鑛泉ヲ經テ十二峠ヲ突破シテ下リタル、陷沒ニ依リ生ジタル小盆地ニシテ、細流ノ涵流ヲ横斷シテ間モナキ濕地ナリ。十二峠ヲ正ニ下ル右側ニモ、よしノ繁殖ヲ見ルモ、之ハ普通品ニシテ、本品トハ別ナリ。本品ハ葉緣粗澁ナラザル特長ノ外ニ、全株痩形ニシテ、葉幅普通品ニ比シヤヽ細ク、且ツ葉身長キ感アルノミナラズ、葉色マタ普通品ノ如ク灰色ヲ呈セズ。

○こめひしばニ就テ　(津山　尙)

本誌ニめひしば屬ノコトヲ書イタ時ニ、こめひしばニ就テ明カナ誤ヲオカシタノデ、ココニ謹ンデ訂正スル。昨年ノ夏ニ自身デコノコトハ判ツタガ、最近牧野先生モ亦御注意下サツタ。小生ノなよめひしばノ名ハ不用デこめひしばト同ジモノデアリ、又小生ノ考ヘテキタめひしばノ一部モ又こめひしばデアツタ。

大井氏ハこめひしばハ痩穗ノ軸ガ平滑デアル點ヲ めひしばトノ區別點ニシテキラレル。コレハ多クノ場合ウマクアテハマル。コノ他ニ こめひしば ハ全體ガ比較的ニ小形デめひしばニ見ラレル樣ナ青味ガカツタ色ガナク單ナル綠色デアリ、又比較的ニヨク匍フ。葉鞘ハ節間ノ長サニ比シテ短カク、葉ハ中央部ガ幅ガ廣ク基部ハ狹クナツテキル。痩穗ノ數ハ2-5デ少ク、小穗ハソノ上ニマバラニツイテキル。めひしばモ時ニ色々ニ變ルノデ乾腊標本デハ、ソノ貧弱型ト間違ヘヤスイガ、ソノ時デモ葉ノ形ハ信賴デキル樣デアル。

東大デハ松村先生ノ時代カラ こめひしば ガ めひしば ノ一型ニ間違ツテ當テラレテキタコトハ前ニ小生ガ述ベタ通リデアル。シカシ牧野先生ハ初メカラ正シイ認識ヲモツテキラレタノデアルシ、又ソノ名デ人ニ廣ク敎ヘテキラレタノデアルカラ、コノ混同ノ故ニこめひしばノ名ヲ捨テテなよめひしばヲトル理由ハナイト思フ。

南日本植物雜報 (其一)　(土井美夫)

○屋久島產ノはるがや屬植物　(土井美夫)

屋久島產ノはるがや屬植物ニ就テハ大井博士ガ本誌第17卷第9號ニ「邦產くさよし族トいね族」ト題スル論文中標本ノ時期若イタメ種類ノ決定ヲナサレズニキル。コノ標本ハ筆者ガ昭和7年7月28日宮之浦岳山頂部デ採集シタモノデアル。其後筆者ノ標本ヲ整理中昭和8年8月9日同處デ採集シタ完全標本ガ見出サレタノデ 大井博士ノ許ニ送ツテ御見ヲモトメタ處いしづちからぼう (*Anthoxanthum sikokianum* OHWI) デアルコトガ分ツ

タ。尙臺灣ノ *Anthoxanthum formosanum* HONDA ヤ比島ノ *Anthoxanthum luzoniense* MERR. ハ結局同ジモノデアルトノコトデ廣義ニ解スレバ次ノ通リ扱フベキデアラウトノコトデアツタ。

Anthoxanthum japonicum HACK. var. *sikokianum* OHWI = *A. luzoniense* MERR. = *A. formosanum* HONDA = *A. sikokianum* OHWI.

何レ大井博士ヨリ後日詳細報告サレル機會モアラウガ差當リ小生ヨリ報告シテヲイテハトノコトデアツタノデ此處ニ發表シタ次第デアル。

○すぢぬまはりゐ九州ニ產ス (土井美夫)

大井博士ガ濟州島品ニ基ヅイテ發表サレタすぢぬまはりゐが薩摩國伊集院町ニ產スルコトガ明ニナツタノデ此處ニ報告スル。コノモノハ大隅・日向兩國ニモ亦產スルガ恐ラク九州本土ニハ諸處ニアルコトト思ハレル。或ハぬまはりゐト混同サレテキルノデハアルマイカ、筆者ハ10年位モ前カラ南九州デぬまはりゐトサレテキタモノニ就テ莖ニ稜線ガアルノデ疑問ヲ抱イテキタ。先年好標品ヲ得大井博士ノ同定ニヨツテ上記ノモノト判明シ疑問ヲ解決スルコトガ出來タ。

Heleocharis valleculosa OHWI in Acta Phytotax. et Geobot. II, 29 (1933).

Nom. Jap. *Sujinumaharii.*

Hab. Japonia: Kiusiu. Ijuinmachi, Prov. Satsuma (Leg. Y. DOI, Anno 1940).

Dist. ins. Quelpaert et Seoul.

A new addition to the flora of Japan proper.

○若林重道氏大隅・日向兩國採集品 (土井美夫)

昨年8月宮崎高農學科三年ノ若林重道君ガ來訪セラレ此兩三年間日向・大隅兩國デ採集シタ多數ノ標本ヲ持參同定ヲ求メラレタ。中ニ數品分布上面白イモノガ新ニ知レタノデ次ニ記スコトニスル。

i やまはんしようづる 昭和16年10月大隅國高隈山南側デ採集、筆者ハ先年九州本土ニ於ケル本種ノ分布ニ就テ記シタガ九州本土東側デハ最初ノ記錄デアル。若林君ニヨルト唯一株樹林伐採後ノ草原地ニアツタトイフ。九州本土デ依然稀產ノモノデアル。

ii むらさきむえふらん 前種ト同期日ニ高隈山デ採集、若林君ニヨルト日向國ニモ諸處ニ產スルトイフ。コレデ本種ハ紀伊・日向・薩摩・大隅(屋久島)諸國ト分布範圍ガ大分廣ク知ラレテ來タ。四國ノ南部ニモ發見ガ期待サレル。

iii のびねちどり 本種ハ九州デハ未記錄ノヤウニ思ハレルノデ此處ニ報告スル。產地ハ日向國北西部ノ白岩山1000m前後ノ邊デ昨年5月若林君ノ採集ニ係ルモノデアル。

Neolindleya camtschatica NEVSKI in Fl. URSS. IV, 646 (1935).

Nom. Jap. *Nobine-tidori.*

Hab. Japonia: Kiusiu. Mt. Shiraiwayama, Prov. Hiuga (Leg. S. WAKA-